

XELOX+アバスチンの治療をお受けになる方へ

★治療スケジュール

症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。()内は抗がん剤の成分名です。

お薬の名前	1日目	2~21日目
アバスチン (ベバシズマブ) mg	 初回は90分、 2回目は60分、 3回目以降は30分	お休み
吐き気止め	 30分	お休み
エルプラット (オキサリプラチン) mg	 2時間	お休み
ゼローダ (カペシタビン) 1日 mg	2週間 朝食後 夕食後	1週間 お休み
		個 個

◎飲み忘れた場合には、忘れた分を服用せず、次の分から服用してください。

絶対に2回分を一度に飲まないで下さい。

この薬の副作用が強く現れるおそれがあります。

★**起こりやすい副作用** これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

〈血液検査からわかる副作用〉

白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、治療開始後7~14日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。



血小板減少

血小板の数が少なくなることがあります。血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などが起こりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。

貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

タンパク尿

尿にタンパクが出ることがあります。そのため、定期的に尿を検査し、尿の中のタンパクの有無を調べます。

〈ご自身でわかる副作用〉

悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。症状に合わせて吐き気止めを使います。

ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。

⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

下痢

1日3回以上の排便、もしくは明らかな排便回数の増加がみられた場合は、下痢止めを使用する場合があります。

ただし、発熱・嘔吐などを伴う場合は病院へ連絡して下さい。

⇒脱水を防ぐために、下痢または軟便の時は、水分をしっかりと取りましょう。

過敏症

点滴中にアレルギー症状がおこることがあります。『息苦しい』『胸苦しい』『気分が悪い』『発疹がでる』『顔がほてる』『突然体がしんどくなる』『顔や体がかゆい』などの症状がおこった時は、すぐに医療スタッフにお知らせ下さい。

⇒アレルギー症状は、多くの場合、点滴を始めてから数分でおこります。

末梢神経障害

投与後、冷たい物にさわると、さらされる、食べる、飲む事で以下の様な症状が現れます。

- ・手足にピリピリとした痛み
- ・のどがしめつけられるような感覚

投与期間中は冷たい物をさわらない・食べない・飲まない、冷やさない事が重要です。

投与回数が増えると、常に手足がしびれた状態になり、回復するまでに時間がかかります。

しびれが強い時は、治療を休んだり、中止することもあります。

⇒我慢せずに、症状ある場合は早めにお伝え下さい。

倦怠感

治療開始2、3日後に症状があらわれることがあります。また、治療が継続することで徐々に出てくることもあります。症状が強い場合には、お薬で対応することがあります。

⇒無理に動こうとせず、安静にして様子を見て下さい。

手足症候群

手のひらや足の裏が赤くはれたり、ヒリヒリ・チクチクすることがあります。

症状が強くなると、皮膚のひび割れや水ぶくれなど日常生活に支障をきたすおそれがあります。

症状によっては抗がん剤の休薬が必要な場合もあります。

⇒こまめに保湿剤を使って皮膚が乾燥しないように心がけましょう。

口内炎

治療開始1週間ほどで口の中や歯肉がしみる、ひりひりする、赤くなるといった症状が出る場合があります、うがい薬や口腔用の軟膏を使うことがあります。

痛くて食事がとれない場合は、病院へ連絡して下さい。

⇒こまめにうがいや歯みがきをして、口の中を清潔に保って下さい。

高血圧

血圧が上がる場合があります。血圧が高いと頭痛をとまなうことがあるので、場合によっては、血圧を下げる薬を使う場合があります。

⇒血圧は、毎日決まった時間に測定し、記録をつけていきましょう。

出血

鼻や歯肉、膣などの粘膜から出血することがあります。

また、患部から出血することもあります。血が止まらない場合は病院へ連絡して下さい。

傷口が治りにくい

傷口が治りにくくなる場合があります。傷口がひらく、傷口から出血する場合は、病院へご連絡下さい。

⇒歯を抜く、手術をする予定がある場合は、予め主治医にご相談ください。

血管痛・静脈炎

抗がん剤の刺激によって、点滴中～点滴後に血管に沿って痛みがでることがあります。

⇒痛みや異常を感じたら、我慢せずに医師・看護師にお知らせ下さい。

血管外漏出

点滴部周辺に不快感を感じる、赤くなる、痛みがでる、腫れるなどの症状があらわれることがあります。

⇒痛みや異常を感じたら我慢せず、すぐに医師・看護師にお知らせください。症状は数日続くこともありますので、外用薬などが処方された場合は継続して塗るようにしてください。

★下記の様な副作用症状が発現した場合は病院へ連絡してください。



- ★「胸の痛み」、「息苦しくなる」、「片方の足の急激な痛みや腫れ」（血栓・塞栓症）
- ★「急な激しい腹痛」、「お腹を押した際に痛む」、「発熱」（消化管穿孔）
- ★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。（間質性肺炎）

※これ以外にも、いつもと違う症状を感じたら病院へ連絡してください。

担当薬剤師